

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第4部門第1区分  
【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公開番号】特開2000-234374(P2000-234374A)  
【公開日】平成12年8月29日(2000.8.29)  
【出願番号】特願平11-36431  
【国際特許分類第7版】  
E 0 3 D 11/02  
【F I】  
E 0 3 D 11/02 Z

【手続補正書】  
【提出日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【手続補正1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】特許請求の範囲  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項1】

ボール部底部のトラップ入口に対向する側に洗浄水を吐水する吐水口を備えたことを特徴とする洗い落とし式水洗便器。

【手続補正2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0009  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0009】

ここで、請求項1記載の洗い落とし式水洗便器において、洗い落とし式水洗便器の排出口と、前記排出口からずれた床面位置に配設された建屋側の排出口とを連結する排水連結管を床面と前記便器との間に配設することもできる。

【手続補正3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0010  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0010】

また、前記した洗い落とし式水洗便器において、前記排水連結管にトイレ室内他に設置された衛生設備機器の排水管を接続することもできる。衛生設備機器として手洗器、汚物流し、洗面器等の排水管を接続することができる。

【手続補正4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0012  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0012】

請求項1記載の洗い落とし式水洗便器の排出口と、前記排出口からずれた床面位置に配設された建屋側の排出口とを連結する排水連結管を床面と前記便器との間に配設すれば、便器のボール部底部と床面との空間部に便器の排水管が配設される。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

前記排水連結管にトイレ室他に設置された衛生設備機器の排水管を接続すれば、衛生設備機器の排水が水洗便器の排水流路に流される。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

図3は請求項1に係る発明の洗い落とし式水洗便器の別の実施例を示す縦断面図である。図1及び図2にて示される洗い落とし式水洗便器と基本的な洗浄水路の構造を同じにすることにより、特に大径射出孔1dからの水勢を従来の洗い落とし方式の水洗便器に比較して弱くすることが可能となる他、その洗浄水の水はねの問題も解決できるため洗い落とし式水洗便器1の高さを同じにしてリム通路1bにある大径射出孔1dからボール部底部との距離(高さ)を低くできる。このことにより、ボール部下部の裏側に建屋側の排出口と便器の排出口とを連結する空間をとることが可能となる。便器の排出口3aには便器側排出口接続管9を弾性状のパッキン12によりシールし接続する。建屋側排出口14には建屋側排出口接続管10を弾性状のパッキン13によりシールし接続する。便器側排出口接続管9と建屋側排出口接続管10との間を排水連結管11により連結して溶着接続する。この排水連結管11は建屋によって便器の排出口3aと建屋側の排出口14との距離が異なるため切断して長さを調節して接続する。

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

さらに、図4は請求項1に係る発明の洗い落とし式水洗便器の別の実施例を示す縦断面図、図5は図4の洗い落とし式水洗便器を用いたトイレ室内の斜視図である。図5においてトイレ室内に備えた洗い落とし式水洗便器1の後方に洗浄水タンク(図示せず)他を隠蔽したキャビネット18を備えておりトイレ室の側壁面には手洗器17を設置している。手洗器17への給水は洗浄水タンクに給水する給水系統より分岐した給水配管19により給水可能で、手洗器17からの排水は途中にトラップ部21を設けた手洗器排水管15を洗い落とし式水洗便器1後方より図4に示すように便器側排出口接続管9に手洗器排水管接続部16を設け接続する。接続先は特に排水路3の封水面Wの下流側であれば特に限定はない。特に図4に示されるような洗浄水の水路構造を持った洗い落とし式水洗便器1においてはサイホン方式の水洗便器に比べて便器の排出口3aから排出される瞬間の流量も少なく手洗器排水管15内が負圧になりにくい。このため手洗器排水管15のトラップ部21の封水がきれにくくなる。また、特に図5に示すような給水、排水管の接続方法を用いることにより手洗器専用の給水、排水設備を新しくトイレ室内に立ち上げることなく、既存からの給水排水設備を利用できるため、トイレ室内改修工事の際には非常に有効である。また、それぞれの給水配管19、手洗器排水管15は手洗器17よりトイレ室側面のキャビネット18まで伸延したカウンター20内に隠蔽することにより美観を損なうこともなくなる。

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図 1】本願の請求項 1 に係る発明の洗い落とし式水洗便器の一実施例を示す縦断面図

【図 2】図 1 の洗い落とし式水洗便器の一部切欠平面図

【図 3】本願の請求項 1 に係る発明の洗い落とし式水洗便器の別の実施例を示す縦断面図

【図 4】本願の請求項 1 に係る発明の洗い落とし式水洗便器の別の実施例を示す縦断面図

【図 5】本願の請求項 1 に係る発明の洗い落とし式水洗便器を備えたトイレ室内の斜視図

【図 6】従来の洗い落とし式洗浄方式の水洗便器を示す縦断面図

【図 7】図 6 の水洗便器の一部切欠平面図

【符号の説明】

- 1 ... 洗い落とし式水洗便器
- 1 a ... 給水室
- 1 b ... リム通水路
- 1 c ... 小径射水孔
- 1 d ... 大径射水孔
- 2 ... ボール部
- 3 ... トラップ排水路
- 3 a ... 便器の排出口
- 3 b ... トラップ排水路壁
- 5 ... リム通水路分岐口
- 6 ... 吐水口
- 7 ... トラップ入口
- 8 ... 分岐通水路
- 9 ... 便器側排出口接続管
- 1 0 ... 建屋側排出口接続管
- 1 1 ... 排水連結管
- 1 2、1 3 ... パッキン
- 1 4 ... 建屋側の排出口
- 1 5 ... 手洗器排水管
- 1 6 ... 手洗器排水管接続部
- 1 7 ... 手洗器
- 1 8 ... キャビネット
- 1 9 ... 給水配管
- 2 0 ... カウンター
- 2 1 ... トラップ部
- W ... 封水面
- F . L ... 床面